

背景・目的

- 利用者の利便性の向上や賑わいの創出のため、公共空間（道路、河川、公園）の活用の取組が増えつつある。
- 公共空間活用が持続的に行われるためには、取組による具体的な効果検証や継続的に運営するためのノウハウの蓄積が必要。



公共空間活用が都市機能やエリアの価値、市民生活等に与える効果の検証や、官民一体による継続的かつ効果的な運営を可能とする手法、持続可能な地域経営に向けた行政支援のあり方を検討する。

研究内容

* 令和4年度・5年度の2年間で実施

令和4年度

令和5年度

国内外の事例調査
(文献調査、アンケート調査、ヒアリング調査、現地調査)

深掘調査対象事例選定

官民連携による公共空間活用事例の深掘調査

官民一体による運営と行政支援のあり方の検討



公共空間活用の例
(左・南池袋公園、右・丸の内仲通りの様子)

今後の調査計画

○文献調査・アンケート調査の結果を踏まえ、深掘調査の対象とする事例を選定。

→豊島区（公園）、松山市（道路）、岡崎市（河川）、島田市（河川）

盛岡市*（公園）、姫路市*（道路）、福山市*（道路）を選定し、事例調査を実施。（*：予定）